

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-010

PDCA	事務事業名	生見平地線道路改良事業	部課等名	建設部 土木課 建設担当	担当	鵜飼		
					内線等	437		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち						
		節： 第2節 都市基盤の整備						
		基本施策： 3. 交通体系						
		単位施策： (1) 幹線道路の整備						
		個別施策： ②その他幹線道路の整備促進						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	生見平地線における交通の円滑化と歩行者の安全確保（歩道設置）						
	目的を達成するための手段・活動内容	生見平地線の歩道を設置するため、道路用地買収及び建物移転を進め、道路改良工事を実施する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位	
		①物件調査		0	3	0	件	
		②道路用地取得面積		0	0	95.52	m ²	
		③物件移転件数				3	件	
		④道路改良工事				38	m	
		事業費		0	1,595	13,814	千円	
		人件費		635	2,129	2,301	千円	
		総事業費		635	3,724	16,115	千円	
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位	
		①物件調査1件当たりのコスト		0	1,241	0	千円	
	②道路用地取得面積1m ² 当たりのコスト		0	0	93	千円		
	③物件移転1件当たりのコスト				1,427	千円		
	④道路改良工事1件当たりのコスト				5,883	千円		
	成 果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位	
		①事業進捗率	実績値		5.0	100.0	%	
			目標値		5.0	100.0		
			実績値					
目標値								
実績値								
目標値								
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B						
		3筆の用地取得と3件の物件補償を行い、道路改良工事を完了させ、交通の円滑化と歩行者の安全を確保することができた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	終了						
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位		